

① 学習指導案

プログラム	No.11 「地域景観プランナーになろう」
単元名 (全 時間)	高田の春のときめきめぐり (全36時間)
学習のねらい	高田の春の四季や人の営みの魅力や高田のまちの一員としての自分の在り方
学習内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 現地を探検したり、インタビューしたりすることで、地域のよさを見付ける。</li> <li>2 そこで感じたことを各自の方法で自由にまとめる。(絵、俳句、詩など)</li> <li>3 造形的な表現力を働かせながら、自ら作り出す喜びを味わい、さまざまな表し方、見方に触れ、創造的に表現したものを、商品として朝市に出店する。</li> <li>4 これまでの学びを踏まえ、高田のまちの一員として自分の在り方を考える。</li> </ol>
参考資料 準備品 実施場所等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・iPad ・取材ワークシート ・絵手紙用はがき ・紙すき道具</li> <li>・朝市出店商品の材料(紙、コンテ、筆ペン等)</li> <li>・朝市 ・青田川 ・高田城址公園 ・本町商店街</li> </ul>

学習の流れ

時間	学習活動	教師の指導	評価
8	○現地を探検したり、インタビューしたりすることで、地域の魅力を見付ける。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に取材用のワークシートを作成し、配布する。</li> <li>・子供の安全に十分注意する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分なりに魅力に気付いている。</li> <li>・自分の思いをもとに、表現方法を選択したり、さらによりよい表現を創造したりする。</li> </ul>
4	○そこで感じたことを各自の方法で自由にまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現地で見付けたこと、感じたことなどを全体で振り返る場を設ける。</li> <li>・様々な方法で表現できるよう、画材などの材料を用意する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高田の魅力を、自分たちで作ったもので発信して地域とつながる。</li> </ul>
22	○見付けた春のときめきを造形的な表現力を働かせながら商品にして朝市で出店する。 ・出店準備 ・出店 ・出店後の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝市に出店する目的意識や相手意識を明確にする。</li> <li>・出店するために課題となる問題を共有し、話し合う場を設定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が考える高田の魅力、これからの自分の在り方をまとめる。</li> </ul>
2	○これまでの学びを踏まえ、高田の魅力を捉え直し、まちの	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の魅力を共有するとともに、地域の良い景観を大切に</li> </ul>	

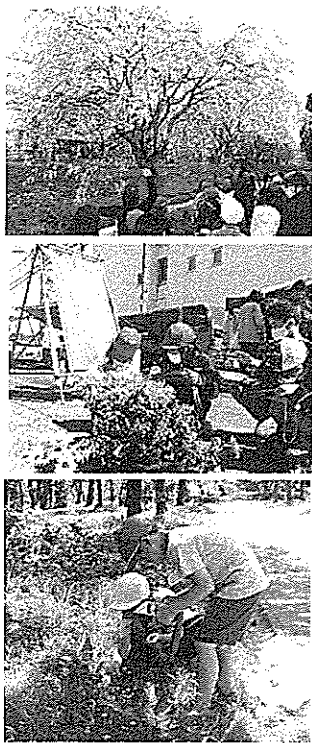
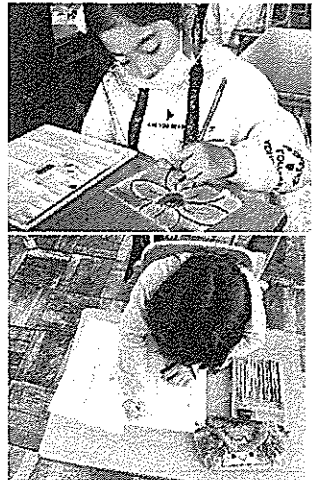
	一員として自分の在り方を考える。	ていくことの意義を確認する。	
--	------------------	----------------	--


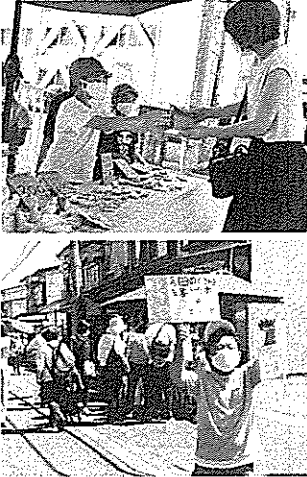
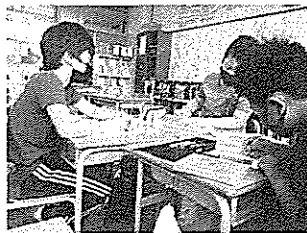
<留意点>

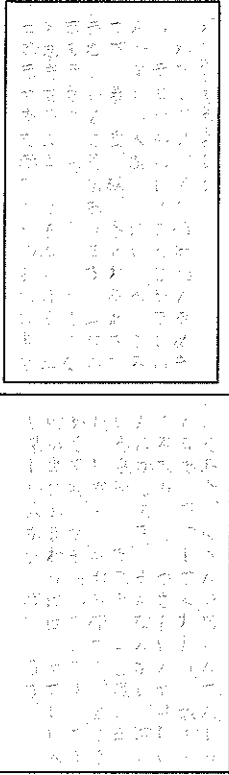
- 現地の事前調査を行い、安全に活動できるようにする。
- まち歩きの際の交通安全を確保する。特に、観察中や写真撮影中の児童は周囲への配慮が疎かになりがちになるため、安全には十分に配慮する。

② 事業実施報告書詳細

学校名 上越市立大手町小学校

時間数	場所	概要	活動記録(写真)	対象者の反応
8	青田川 高田城址公園 朝市 商店街	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 青田川や高田城址公園の散策、遊び、植物観察などをしながら春の自然に親しむ。</li> <li>• 朝市や商店街で旬のものを見付けたり、インタビューしたりしながら、春を感じる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 体全体で春の自然の魅力を感じていた。</li> <li>• 朝市や商店街では、積極的にお店のの人にインタビューをしながら旬のもの季節のものを見付けていた。また、地域の人とかかわることで、地域の人の優しさにも気付いた。</li> </ul>
4	教室	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 感じたことを絵や俳句、詩など各自の方法でまとめる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>• イメージマップをもとに言葉を組み合わせ、俳句を作る子供がいた。</li> <li>• 紙や画材を自由に選択して、絵や言葉で思いを表現していた。表現する過程で、高田の魅力を見つめ直していた。</li> </ul>

16	生活科 ルーム 教室	<ul style="list-style-type: none"> <li>•見つけた魅力を多くの人に伝える方法を考える。</li> <li>•朝市での春の出店に向けて、出店の目的や方法などを話し合う。</li> <li>•お店ごとに商品、看板や値札作りなど出店の準備をする。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>•見つけた地域の魅力を多くの人に伝えたいという思いをもち、朝市での出店に意欲を高めた。</li> <li>•お店の名前を、「高田のときめきやさん」と決めた。お店の商品を通して、「地域の人に高田のよさを知ってもらいたい」「地域の人に喜んでもらいたい」と願いをもった。</li> <li>•伝えたい魅力を明確にして、商品に表した。</li> </ul>
4	朝市	<ul style="list-style-type: none"> <li>•朝市で「高田の春のときめきやさん」を出店し、高田の春の魅力を地域の人に伝える。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>•元気な声を響かせて、積極的にお客さんに呼び掛けて、地域の人とかかわっていた。</li> <li>•商品を媒介にして、お客さんに高田の春の魅力を伝えていた。</li> </ul>
2	生活科 ルーム 教室	<ul style="list-style-type: none"> <li>•「高田の春のときめきやさん」の出店を振り返る。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>•多くのお客さんと触れ合うことができ、魅力を伝えることができたこと喜んでいた。</li> </ul>

2	生活科 ルーム 教室	<ul style="list-style-type: none"> <li>「高田のときめき」とは何か自分の考えをもつ。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれの場所で見つけた魅力は違っても、どの魅力も人の喜びにつながることに気付いた。</li> <li>地域の人とのかかわりを通して、人の優しさに気付いた。</li> <li>夏、秋、冬も魅力を見つけて朝市で出店したいという思いをもった。</li> </ul>
---	------------------	--	---	---

### ③ 実施内容について

<p>(1) 実施にあたり工夫した点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>時期や天候を考え、その場所の魅力を存分に味わうことができるように日程調整をした。</li> <li>季節ごとに現地に出掛けることで、季節ごとのそれぞれの魅力を見付けることができるようにした。</li> </ul>
<p>(2) 実施にあたり苦労した点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>校外での活動のため、天気によって左右されてしまうので、日程調整や予定変更があった。</li> <li>感染症対策のため、活動の制限があり、子供の思いや願いを十分に叶えることができないこともあった。</li> <li>子供の思いを表現させるための方法や材料などどれが適切か考え、準備すること。</li> </ul>
<p>(3) 児童の反応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれの現地で、体全体で春を感じたり、地域の人に取材したりして、新たな春の魅力を発見していた。</li> <li>自分が見つけた魅力を詩・俳句・絵など、それぞれの方法で意欲的に表現していた。</li> <li>自分たちが見つけた魅力を朝市で地域の人に伝えたいという思いをもった。「高田のよいと</li> </ul>

ころをたくさんの人に知ってもらいたい」「地域の人に喜んでもらいたい」「高田を好きになってほしい」と思いを高めながら取り組んでいた。

- 商品を媒介として、地域の人と触れ合い、地域の魅力を伝えることができた。
- 春だけでなく、他の季節も魅力があるに違いないと考え、次の活動に意欲をもって取り組んでいた。

#### (4) 担当教諭及び担当外教諭の変化

- 子供と一緒に現地に出掛け、春の自然を見付けたり、朝市や商店街でお店の人の思いを聞いたりする中で、改めて校区を見つめ直し、魅力を知ることができた。
- 学年の職員と季節ごとの魅力は何か、子供が魅力を見付けるためにどのような活動を設定すればいいか等、学年の職員で話す機会が増えた。これまでよりも更に、校区に興味・関心が増えた。
- 今回の学習や活動は、地域の方や市役所の方から協力してもらうことも多く、人とのつながりの大切さを改めて感じる事ができた。

#### (5) 今後の課題と取り組み〔児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等〕

- 「朝市」「商店街」「青田川」「高田城址公園」は、学校から徒歩で5～10分程度で行くことができ、子供にとって身近な場所であり、初めて学校の外に出て探究（総合的な学習の時間）を行うには適切な「学習材」である。今年度は、自分たちが通う学校の周りに焦点を当てたので、4つの場所に繰り返し通いながら学習を進めてきた。どの場所もいい「学習材」であるので、子供の思考に寄り添いながら1つの場所に焦点を当てて学習を展開することもよいと感じた。